

向陽バド奮闘2位



バドミントン少年女子で準優勝し、賞状を手に笑顔を見せる向陽高の選手たち

遊学館卓球 3位

第71回国体(2016希望郷いわて国体)第5日(5日)石川県はバドミントン少年女子で向陽高が準優勝、卓球少年男子で遊学館高が3位の表彰台に立った。このほか、ソフトテニス少年男子で興濱高が6位、ウエイトリフティングの少年男子105kg級で北川虎史(飯田高)がシャーキー7位、スナッチ8位、ライフル射撃の成年男子エアライフル伏射で船橋斗(白山市役所)が8位に入賞した。

【18面に関連記事】

大家「幸せ」痛みに耐え笑顔貫く

追い詰められても、最後は笑顔で戦い続けた。向陽高のエース大家夏穂は格闘と組んだダブルスに続いてシングルスに出場し、夏に疲労骨折した右足は万全の状態ではなかった。結果はストレート負け。10年ぶりの優勝は逃したが「バドミントンができることを幸せに感じた」とかみしめた。

骨折の影響で8月のインターハイはシングルスを棄権した。十分な練習をできず、もどかしい思いをしてきた。高校最後の大会で結果を残し、支え続けてくれた両親や監督、仲間や南部長 一に恩返ししたいと臨んだ団体だった。

決勝の相手は福島。ナショナルチームメンバーの仁平菜月と高橋明日香を擁する強豪の壁は厚かった。

踏ん張るたびに足の痛みで顔をしかめる大家に、車道明監督が笑顔で声を掛けた。「下向くのやめよう。明るく終わろう」。肩の力が抜けたのか、自然と大家の顔がほころんだ。

高校時代は一度も日本一になれなかった。大家は「社会人になって、この悔しさを晴らす。二打五球を返す」

2016 希望郷 いわて 国体

がんばる県勢

ソフトテニス6位
ウエイト北川7位
ライフル船8位